

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科 1年	単位	16 単位
科目コード	302210	科目名	バッグ I	授業期間	通 年

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・マチの種類を理解した上でのバッグのデザイン、そのデザインに合わせた立体の作り方、型紙の作り方、縫製方法を習得する。
- ・バッグ制作用の道具類の使用法、皮革用ミシンや革漉き機の操作方法を習得する。
- ・バッグをデザインする方法や考え方を講義・演習を通して学び、商品企画力を身に付ける。

【授業計画】

バッグデザイン I 3 単位 / バッグパターンメイキング I 4 単位 / バッグ制作実技 I 7 単位 / バッグデザイン論 2 単位

●バッグ デザイン・パターンメイキング・制作実技

1. 道具、機材の使用法、曲げマチバッグ製作	27コマ	デザイン・パターン・制作実技
2. 横まち基本型	22コマ	制作実技
3. 部分縫い（ポーチ、持ち手、玉だし縫製など）	14コマ	制作実技
4. 縫い返し応用デザイン	35コマ	デザイン・パターン・制作実技
5. スワローまち基本型	22コマ	制作実技
6. グループ制作（バザー作品）	6コマ	制作実技
7. スワローまち応用デザイン	42コマ	デザイン・パターン・制作実技
8. 外縫い横まち基本型	20コマ	制作実技
9. 指示書・図面の描き方	8コマ	デザイン

●バッグデザイン論

1. テーマ、コンセプト立案とバッグデザイン演習	8コマ
2. 商品デザインの仕事について・型バリエーション演習	3コマ
3. ブランド研究、商品デザイン演習	10コマ
4. 機能からのデザイン、他者のためのデザイン演習	6コマ

【評価方法】 S～C・F評価

デザイン	・学業評価80%（提出物50、試験30）	授業姿勢20%
パターンメイキング	・学業評価80%（提出物30、試験50）	授業姿勢20%
制作実技・デザイン論	・学業評価80%（提出物のみ、試験なし）	授業姿勢20%

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション工芸講座③ バッグ
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】様々な作りの「基本型」のバッグを製作後、「応用」として基本の技術を活かした自由なデザインのバッグを製作する。バッグをデザインする時の考え方、商品企画について演習を通じて学ぶ。

【教員紹介】文化服装学院ファッション工芸科卒業。バッグ卸企業にてバッグデザイナーの仕事を経験し教員となる。

記載者氏名 青木克江

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科 1年	単 位	2単位
科目コード	302510	科目名	バッグハンドワークI	授業期間	後期

担当教員(代表)：荒関 史伸

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・手縫いの基本をマスターさせ、手縫いによる小物(財布、ペン立て等)ができるほどのレベルにもっていく。
- ・手縫いの技法のいくつかを使用するビジネスバッグ製作のパターンまでができるほどのレベルにもっていく。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
手縫いの基本的な技法 (2コマ) ・道具の説明 ・平縫い (糸の準備、菱目打ちの革への穴の開け方、縫い方など)	講 義 実 習	1 ~ 2	手縫い技法の復習(2コマ) ・習った手縫い技法の実習による復習 ・装飾的手縫いの実習	実 習	19 ~ 20
全員同じパターンによる2つ折り財布の作製(8コマ) ・パターン作製 裁断、念引き、手縫いによる縫製、コバ磨き、仕上げ	実 習	3 ~ 10	手縫いの技法、装飾的な手縫いを使用したビジネスバッグ製作(8コマ) ・製装飾的な手縫いの例をいくつか紹介 ・デザイン画 ・ビジネスバッグ製作(和紙による立体作製、パターン作製) 【2年前期へ続く】	実 習	21 ~ 28
菱切りの研ぎ方について (2コマ) ・研ぎ実習	実 習	11 ~ 12			
全員同じパターンによるペン立ての作製 (6コマ) ・すくい縫いの説明、練習 裁断、縫製、仕上げ	実 習	13 ~ 18			

【評価方法】S~C・F評価 評価基準：学業評価50%、授業姿勢50%

主要教材図書 文化ファッション工芸講座③バッグ

参考図書 なし

その他資料 文化ファッション講座工芸②手芸

授業の特徴と担当教員紹介

実際にモノを作りながら技術を習得していきます。担当教員は文化服装学院卒、現役のバッグ職人です。

記載者氏名 荒関 史伸

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科1年	単位	2単位
科目コード	950000	科目名	自由研究I	授業期間	通年

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

各課題や個人の自由実習。
通常授業以外の制作や、コンテスト参加、美術館見学などによる、各個人のレベルアップ。

【授業計画】

- 1、各種コンテスト参加
革コン、ザッカコンペティション、学内コンテストなど。
- 2、美術館、博物館見学
見学、感想レポート提出。
- 3、就職活動準備
希望職種に合わせた就職活動準備をする
デザイン画、作品制作、ポートフォリオなど。

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に履修認定の是非を決定する

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

【授業の特徴】通常授業以外の制作や活動

【教員紹介】文化服装学院ファッション工芸科卒業。バッグ卸企業にてバッグデザイナーの仕事を経験し教員となる。

記載者氏名 青木克江

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH1	科名 バッグデザイン科1年	単位	2単位
科目コード	科目名 服飾造形	授業期間	前期

担当教員(代表) : 野沢 沙予	共同担当者 :
------------------	---------

概要

服飾造形としての一般知識、原型の作図方法、縫製の基礎を理解させる。

衣服制作をとおして衣服の構造を理解し、ファッショングッズと関連させ指導する。

衣服造形の基礎、服飾造形概説、シャツ・ブラウスの基礎知識・縫製

前期2単位 (28コマ)

・ 服飾造形の基礎 2コマ

服飾造形概説

採寸

文化式婦人原型

シルエット撮影

・ シャツ・ブラウス 26コマ

・ 一般知識

・ 基礎縫い (ミシン・ロックミシン講習)

・ 作品制作

・ レポート提出

・ プレゼンテーション発表

評価方法・対象・比重

評価基準 : S. A. B. C. F評価、学業評価80%、授業姿勢20%

※学業評価=平常成績 (授業内での応答、課題作品・レポート・実技の評価) など

授業姿勢=出席状況、授業内提出状況 など

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾関連講座①「服飾造形の基礎」、③「ブラウス・ワンピース」を中心としたプリント

参考図書

その他資料 実物資料

授業の特徴と担当教員紹介

・ アパレルに特化した衣服製作 ・ 文化服装学院専任講師担当

記載者氏名 野沢 沙予

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1	科名 帽子デザイン科 1年	単 位	2 単位
科目コード	科目名ハンディクラフト	授業期間	(通年)

担当教員(代表) :	共同担当者 :
------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各種のクラフトテクニックを、エンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎的なテクニックを幅広く学習する。

特に、帽子・バッグ・シューズ・アクセサリー等のグッズ制作に、応用することをイメージしながら実習させる。

併せて、学習したテクニックをまとめ、ブックの形式で完成させる。

それにより、テクニックだけにとらわれない応用性を身につけさせる。

【授業計画】

*エンブroidアリー

- ・カラーエンブroidアリー 刺しゅうの中で、代表的な色系刺しゅうの基本的なステッチの実習（4.5）
- ・ステッチの応用 ボリュームのあるステッチの実習 より多種多様なステッチの習得（2）
- ・キャンバスワーク 基本的なステッチを用いながら、織り糸を数えて刺すテクニックの実習（2.5）
- ・コードエンブroidアリー 紐状のものを布に止め付けていくテクニックの実習（2）
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリー 服飾素材の扱い方の基本テクニックの実習（1.5）
- ・ミラーワーク ミラーの止め付け方のテクニックの実習（0.5）
- ・ビーズ/スパングルエンブroidアリーの応用 オリジナルの図案をデザインしモチーフを制作（1）

*布の加工

- ・アップリケ 布を切り貼りするテクニックの実習（1.5）
- ・スモッキング ベーシックスモッキングのうち柄布(ギンガム)を使ったテクニックの実習（1.5）
- ・カットワーク 布にステッチをして切り抜き、透かし模様を表現するテクニックの実習（1.5）
- ・フリル/ギャザー/ヨーヨー ファブリック マニピュレイティング(布加工)の代表的な
テクニックの実習（1.5）
- ・リボンワーク 幅広いテープ状のものを装飾的に加工するテクニックの実習（1.5）
- ・ラティススモッキング 布を裏面からつまむことによる陰影の表現のテクニックの実習（1.5）
- ・キルティング 布を部分的にふくらませて、レリーフ状に加工するテクニックの実習（2.5）

イタリアンキルティング/イングリッシュキルティング

*レース

- ・マクラメレース ひもを手で結び模様を表現するテクニックの実習（2.5）

*一年間の技法を1冊のファイルにまとめる

- ・技法のまとめ（1）

【評価方法】

制作物の評価にブックの採点をプラス

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸

参考図書

その他資料 各種技法サンプル 講師作成プリント類

授業の特徴と担当教員紹介

ニット企業でのニットデザイナーを経て、フリーでハンディクラフトを生かした作品制作(キッズニット・編みぐるみ・バッグ・ニット帽など小物からインテリアグッズまで)・雑誌等の活動経験をもとに指導。クラフトテクニックをエンブroidアリーと布の加工に大別し、基礎テクニックを幅広く習得する。帽子・バッグ・シューズ・アクセサリ等のグッズ制作に応用することをイメージしながら実習する授業を実施

記載者氏名 白戸 薫

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH1	科名 バッグデザイン科1年	単 位	2単位
科目コード 500200	科目名 デッサン	授業期間	通年

担当教員(代表)：柳澤 利光	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

モチーフを実際に観察して描く訓練を重ねることで、デザインイメージを見る側に伝える為の基本描写能力と、創造力の元となる視点・気付きの習得を目的とする。デザイン画の前段階として、モチーフの構造を透視化する力・線や面による立体表現・質感表現を主に学ぶ。

【授業計画】

- 1、オリエンテーション：様々な物を描く際に大切な、幾何形体について学ぶ。
- 2、3、帽子のデッサン：造形・質感・パース空間の習得。
- 4、5、6、7、石膏トルソのデッサン：大きな面で捉えた造形・空間・描き込みと省略の習得。
- 8、9、靴のデッサン：靴（基本造形）の理解。
- 10、11、12、13、石膏頭部デッサン：大きな面で捉えた造形・空間の習得。
- 14、15、磁器カップのデッサン：円形造形・空洞空間の習得。
- 16、17、バッグのデッサン：バッグ（基本造形）の理解。
- 18、19、金属を描く：立体造形と金属の質感描写の習得。
- 20、21、22、鳥剥製のデッサン：造形・質感・パース空間の習得。
- 23、24、25、静物デッサン：造形・質感・パース空間の習得。
- 26、27、28、29、石膏ヴィーナス像のデッサン：大きな面で捉えた造形・描き込みと省略の習得。

【評価方法】

S～C・F評価。評価基準：学業評価80%授業姿勢20%。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	授業の各テーマに合わせ、講師側で準備。

授業の特徴と担当教員紹介

実際にものを観察し手を動かして制作する中で、創造力・描写力を伸ばします。
担当教員はファインアートを主に制作しています。

記載者氏名	柳澤 利光
-------	-------

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF1, GG1, GH1, GI1	科名 帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、 バッグデザイン科、シューズデザイン科 1年	単 位	2単位
科目コード 500500	科目名 造形演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 西村 碧	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション工芸の各分野における専門性とは別に、すべての造形行為に通底する基礎的な能力を身につけることを目標とします。デザインを行う上で必要な想像力と思考力を養う実習を通して、基本的な造形感覚の習得を図ります。

【授業計画】

授業は造形作品の制作実習を中心に展開し、平面から立体への思考を制作を通して習得することを目指します。各課題のテーマに対し前提講義を行い、造形理論の基礎と制作の方法論を解説するとともに、制作実習においては、常に作品への助言、指導を行います。作品講評と併せて、基本的な造形能力の習得とその展開方法を確立し、柔軟性に富む思考と造形感覚を育むことを目指します。

- 1 形態の「動き」の表現 平面における形の構想力と表現力の養成を目的として、形態とイメージ、動きの関係を具体化する方法を探る。幾何学的形態を基本とするモノトーンの構成演習。(5コマ)
- 2 偶然性からの展開 形の発見と構成力の習得を目的として、偶然から生まれる有機的形態を抽出(トリミング)し、本の形態に綴じることを通して、形に対する感受性と編集能力を養う。偶発的描画手法(ドリッピング、デカルコマニー、フロッターージュ等)を構成に用いた演習。(5コマ)
- 3 平面的な立体表現 平面から立体への展開の端緒を探ることを目的に、平面と立体のそれぞれの性質の相違を理解し、半立体的な表現を試みる。レリーフの制作および色彩による表現演習。(5コマ)
- 4 光による表現 造形要素としての「光」の動きの探究を目的として、造形物に光が与える作用への理解を深め、相互の関係性のデザインを試みる。光を多角的に捉え、その動きを理解し、表現に取り込む演習。(4コマ)
- 5 表層のデザイン 表層の質感を知覚する感覚を磨くことを目的に、自らの手で加工を施し、多様な質感の変化を体験することで、素材への理解を深める。同一の素材に異なる加工を施し、表層の質感を変化させた触覚チャートを作成する演習。(5コマ)
- 6 身体になじむ形 抽象概念の理解と彫刻的技法の実践を目的として、イメージを抽象化した有機的形態と身体との関わりによる表現を模索する。バルサ角材 60×60×150 を材料に彫刻する演習。(5コマ)

【評価方法】

S~C・F 評価

評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

制作実習における成果物を主たる評価基準とする。基礎造形の理解度と表現力を評価の基準としたうえで、思考の柔軟性と今後の展開可能性が感じられるものを高く評価する。制作実習時の姿勢ならびに出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
参考図書	『Visual design (平面・色彩・立体構成) 1』(改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会/六耀社
その他資料	特になし

授業の特徴と担当教員紹介

制作実習中はコミュニケーションを緊密にとり、造形に取り組む基本的姿勢の習得と柔軟な思考力を養うことを目指します。

記載者氏名 西村 碧

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部 1

科コード GH1	科名 バッグデザイン科1年	単位	1
科目コード 501800	科目名 色彩論・演習	授業期間	前期

担当教員(代表)：三枝みさお	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>ファッションの色彩に関する基礎的な知識と技術を、講義と実習を通して身につける。</p> <p>色彩の体系、色彩の科学、色彩心理、配色の基礎について学び、ファッション工芸の現場で生かすことを目標とする。</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <p>1. オリエンテーション (1コマ)〈講義〉</p> <p>2. 色彩の体系 (3コマ)〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の分類方法 [プリント演習] ・色の三属性とトーン [カラーチャート作成] <p>3. 色彩の識別 (2コマ)〈講義・演習〉 [課題作成：色相別コラージュ] [プリント演習]</p> <p>4. 色彩の心理 (2コマ)〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の三属性による感情効果 [プリント演習] ・色彩のイメージ [プリント演習] または課題作成 <p>5. 色彩の技術 (6コマ)〈講義・演習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色相を基準にした配色 [プリント演習] 同一色相 類似色相 中差色相 対照色相 補色 ・トーンを基準にした配色 [プリント演習] 同一トーン 類似トーン 対照トーン ・流行配色 [プリント演習] トーン・オン・トーン トーン・イン・トーン フォ・カマイユ トーナル ・カラーコーディネーションの提案 [課題作成：カラーコーディネーション] [プリント演習] ・色彩構成 シンメトリー アシンメトリー レピテーション グラデーション アクセント セパレーション
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>『ファッション色彩I』(文化出版局)</p>
<p>参考図書 特になし</p>
<p>その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>授業の特徴：講義と演習によって理論と感性を磨く 担当教員：文化服装学院専任教授</p>

<p>記載者書名欄 三枝みさお</p>

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH1	科名 バッグデザイン科1年	単位	1単位
科目コード 200600	科目名 染色演習	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表)： 伊藤 望	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

染色に関する基礎的な知識と技術を、各実習を通して習得し、それをもとにアパレルやアパレル小物の制作に応用展開できる能力を養う。
さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについての理解を深めることを目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. ガイダンスおよび染色概論
・ 授業内容について
・ 主な染料の種類と特徴
・ 染料と繊維の染色適合性
・ 染料と繊維の結合と染着過程 | (1コマ) | (講義) |
| 2. 酸性染料による原毛(羊毛)染色
・ 羊毛の性質
・ 酸性染料の特徴
・ 羊毛の酸性染料による浸染法 | (1コマ) | (実習) |
| 3. 羊毛を使用したフェルト制作
・ 羊毛の縮絨性
・ 羊毛のフェルト制作方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 4. 型紙捺染
・ 型紙捺染の仕組み
・ 捺染の種類と版式
・ 顔料樹脂染料の特徴と染料との比較
・ 特殊プリント加工
・ 図案構成と型紙制作
・ 印捺と仕上げ方法 | (4コマ) | (講義・実習) |
| 5. スクリーンプリント
・ スクリーンプリントの仕組み
・ 量産プリントの版式と生産工程
・ 図案構成と製版
・ 印捺と仕上げ方法
・ スクリーンプリントと型紙捺染の比較 | (4コマ) | (講義・実習) |

評価方法・対象・比重

S～C・F評価(学業評価 70%、授業姿勢 30%)

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座④アパレル染色論 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴 染色の基礎的な浸染法(無地染め)・捺染法(模様染め)を主体に、その他加工法も含め実習する

担当教員紹介 伊藤 望：女子美術大学、文化服装学院 卒業後、文化服装学院勤務 現在専任教授 染色担当

記載者氏名 伊藤 望

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科1年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク I	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着彩ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】

- Photoshop の基本操作 : 講義・実習 4コマ
 - ①移動ツールの使い方
 - ②ブラシツールの使い方
 - ③レイヤーマスクを使った切り抜き
 - ④画像合成
- 画像合成・ファイル表紙のデザイン : 講義・実習 2コマ
 - ①画像の収集
 - ②切り抜き・画像合成
 - ③文字入力
- デザイン画の着彩 : 講義・実習 5コマ
 - ①着彩準備
 - ②陰影表現
 - ③ブラシツールの着彩
 - ④連続柄作成
 - ⑤パネル柄
- Illustrator 基本操作 : 講義・実習 3コマ
 - ①基本図形の描き方
 - ②色の設定方法
 - ③整列・画像の配置
 - ④クリッピングマスク
 - ⑤スウォッチ・ブラシ
 - ④レイアウトデザイン

【評価方法】
 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 Adobe Photoshop CC2023/Adobe Illustrator CC2023

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルテキストスタイルデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広いPCスキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科1年	単位	1単位
科目コード		科目名	ファッションビジネス概論	授業期間	後期

担当教員(代表) : 澤住 倫子	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・ファッションビジネスの基礎知識の理解
- ・ファッション産業構造の把握と専門業務の把握による職種選択のための対応

【授業計画】

I. ファッションとビジネス (1コマ)

1. オリエンテーション 衣服とファッションの関係

II. ファッションビジネスの基礎知識 (2コマ)

1. ファッションの範囲と流行の把握
2. ファッションの構成メンバー ファッションビジネスに求められる資質

III. ファッションビジネスの変遷 (3コマ)

1. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1950年-1970年
2. 戦後の社会経済とファッション消費の変遷 1980年-現代
3. 現代のファッションキーワード～未来型ファッションビジネス思考

III. ファッション産業の構造 (3コマ)

1. テキスタイル産業の構造 テキスタイル業界と産地
2. アパレル産業の構造について アパレル業界とアパレルメーカー
3. 小売業の構造について リテール業界と新業態

IV. ファッションビジネスの実務 (3コマ)

1. アパレル企業の業務と職種について
2. ファッション小売業の業務と職種 ファッション販売と顧客の購買行動
3. マーケティングの基礎知識

V. 計数知識 (1コマ)

1. ファッションビジネスに必要な計数の基礎知識

※すべて講義

【評価方法】

試験 50% テキスト提出 30% 出席 20%

主要教材図書

参考図書 日経、織研新聞、繊維白書など

その他資料 教材専用プリント類

記載者氏名 澤住 倫子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン画1年	単位	2単位
科目コード	501310	科目名	バッグデザイン画I	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 玉川あかね	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

バッグの基本型から段階を追い、バッグの構造を理解しながら複雑なデザイン、形状まで描けるようになることを目標とする。また、マーカーによる材質表現テクニックを習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I・立体と構造／立体の面の捉え方 (1コマ)
- II・立体と陰影／立体と光と陰影の捉え方と彩色練習 (1コマ)
(マーカー彩色と補助画材としての色鉛筆彩色)
- III・フォルムとディテール／バッグの構造、縫製を理解し、素材の厚みを意識して描く (2コマ)
マチ、手ひもの描き方
- IV・製品図の描き方／グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆の使い方 (1コマ)
ファスナー、バックル、ボタンなど副資材の描き方
- V・彩色テクニック(皮革素材表現)／マーカー、色鉛筆の彩色練習 (4コマ)
型押し皮革、エキゾチックスキン(ワニ、ヘビ、オーストリッチ、シャークなど)
- VI・造形練習／バッグ以外の物の形からバッグデザインに展開 (4コマ)
ホワイト彩色によるハイライト効果、材質の違いによる光と陰影のコントラストのつけ方
- VII・創作デザイン／コンテスト応募作品 *台東ザッカデザイン (3コマ)
*校内コンクール(工芸部門)
- VIII・絵画からのデザイン発想・装飾凹凸の表現／カットワーク、パッチワーク、の描き方 (4コマ)
絵の具の混色による色出しと彩色
- VIII・マイコレクション／プレゼンテーションのための作品集制作 (8コマ)
 - ① コンセプト、テーマ設定
 - ② イメージの具体化(素材、色、副資材アイテムなどの選出)
 - ③ デザインバリエーション展開

【評価方法】 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする
S～C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢、出席状況・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系「ファッション工芸講座3 バッグ」
日本皮革産業連合会「鞆・ハンドバッグ・小物 標準用語集」

参考図書

その他資料 参考資料プリント、オンデマンド教材

授業の特徴と担当教員紹介
デモンストレーションを伴う講義と、実技演習科目

記載者氏名 玉川あかね

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ジュエリー・バッグ・シューズデザイン科1学年	単 位	1 単位
科目コード	科目名	キャリア開発	授業期間	(後期)

担当教員(代表)：杉本直鴻

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

・学生が志望する就職先に内定するために必要な「就職力」を講義+実習を通して身につけさせる

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要、コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 就職活動の進め方(企業の採用スケジュールとは、就職活動の進め方)	講義	1
2. 言葉遣い(正しい言葉遣い、敬語、ビジネス会話)	講義目実習	1
3. 電話のマナー・Eメールのマナー	講義・実習	1
4. 会社訪問・店舗見学、マナー	講義・実習	1
5. 自己分析① <学生時代>	講義・実習	1
6. 自己分析② <性格・長所>	講義・実習	1
7. 履歴書・エントリーシート①	講義・実習	1
8. 履歴書・エントリーシート②	講義・実習	1
9. 面接・個人・オンライン(コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
10. 面接・集団・オンライン(コミュニケーションスキル向上と試験対策)	講義・実習	1
11. グループディスカッション①	講義・実習	1
12. グループディスカッション②	講義・実習	1
13. 作品プレゼンテーション	講義・実習	1
14. 内定から入社まで(内定の意味、誓約書、承諾書、労働法規の理解、その他)	講義	1

【評価方法】

・出欠席、受講態度、実習(面接練習、グループディスカッション練習、プレゼンテーション練習)参画度

主要教材図書

「就職対策 第2023年度版」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

机上の知識だけでなく、将来について(今後の自分自身のキャリア)を実習・実践を交えて学ぶことができる。

記載者氏名 杉本直鴻

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科 1年	単 位	2 単位
科目コード	980010	科目名	特別講義 I	授業期間	通 年

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

専門科目、通常科目の他に学外の専門講師による講義や、他分野の講師による講義を通し、幅広い知識を得て視野を広げる。同時に個々の目的とする職能を確認し位置づける

【授業計画】

・ 学生生活について（コミュニケーションについて）	講義	2コマ
・ サステナブルファッションについて	講義	1コマ
・ SNSトラブルと著作権について	講義	1コマ
・ お金について	講義	2コマ
・ 流行色解説	講義	1コマ
・ ファッショングッズ業界とは（業界の仕組みと業種、その仕事について）	講義	1コマ
・ ファッショングッズデザイナーについて（学生時代にすべき事）	講義	1コマ
・ 日本の生活文化（風呂敷）について	講義・実習	1コマ
・ ポートフォリオ制作①（就職活動に向けた作品集の作り方）	講義・実習	1コマ
・ ポートフォリオ制作②（カメラワーク）	講義・実習	2コマ
・ ポートフォリオ制作③（PCによる制作実習）	講義・実習	2コマ
・ ポートフォリオ制作④（プレゼン、講評）	講義・実習	2コマ
・ デザイナーの仕事について	講義	2コマ
・ 皮革について（皮革の種類や革が出来上がるまで）	講義	2コマ
・ アートフラワー	講義・実習	3コマ
・ 輸入皮革、レザーカービング	講義・実習	2コマ
・ 金具・ファスナーについて	講義	2コマ
・ 服装解剖学	講義	1コマ
・ バッグ職人の仕事について	講義	1コマ

【評価方法】

履修認定（P表示） 評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 青木克江

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科1年	単位	1 単位
科目コード	930010	科目名	校外研修 I	授業期間	前期 (集中)

担当教員(代表) :	青木克江	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

学生同士のコミュニケーション、相互理解、親睦を深める。
 団体行動の規律やマナーを守ることとおして、協調の精神を養う。
 学外での観劇や展示へ行き、見聞を広める。

【授業計画】

- マザー牧場研修 (テキスタイル・帽子・ジュエリー・バッグ・シューズ合同) 【6コマ】
 - ・オリエンテーション(内容説明・グループ分け・行動計画) (1コマ)
 - ・研修当日 (4コマ)
 - ・感想・反省 (1コマ)
- 観劇 (帽子・ジュエリー・バッグ・シューズ合同) 【4コマ】

劇団四季「ライオンキング」観劇

 - ・事前準備 (1コマ)
 - ・観劇 (2コマ)
 - ・感想 (1コマ)
- フェンディ ハンド・イン・ハンド エキシビション～卓越した職人技への称賛 カレッジプログラム参加 【3コマ】
 - ・解説、実演見学、展示見学 (1コマ)
 - ・感想、デザイン画作成 (2コマ)

【評価方法】

履修認定 (P表示) 評価基準 : 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する。

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 青木克江

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH1	科名	バッグデザイン科 1年	単位	1 単位
科目コード	945010	科目名	インターンシップ I (自由選択)	授業期間	通年 (自由選択)

担当教員(代表) : 青木 克江	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○研修先、期間

バッグ、靴業界の企業

1週間～2週間(受け入れ先企業により異なる)

○研修内容

実務作業補助 (デザイン、製作、営業、生産管理など)

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する(出欠、研修報告)

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴: バッグ業界の様々な職種の就業体験。

記載者氏名 青木 克江

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バッグデザイン科 2年	単位	19 単位
科目コード		科目名	バッグⅡ	授業期間	通年

担当教員(代表) :	白方 茜	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

1 年次までの基礎知識を基に、さらに高度なデザイン力、パターンメイキング力、縫製テクニックの習得を目指し、企業で即戦力として活躍できるスキルを身につけることを目標とする。テーマごとに基本作品(全員同じ形)を制作し、新しい知識・技術の習得を行い、それを活かしながら応用、発展させた作品制作を行う。また、素材についても様々な方法で加工を施すなど、オリジナリティーの追及を目指していく。(基本作品 4 点、応用作品 7~8 点)

【授業計画】

302220	バッグ デザイン Ⅱ	通年	4 単位
302320	バッグ パターンメイキング Ⅱ	通年	5 単位
302421、302422	バッグ 製作実技 ⅡA・ⅡB	前期	5 単位 後期 5 単位

1. 帯まち外縫い 基本型 18 コマ(前期) 制作実技
2. 外縫いオリジナルバッグ 38 コマ(前期) デザイン・パターン・制作実技
3. 口金ハードバッグ 基本型 14 コマ(前期) 制作実技
4. 口金応用バッグ 30 コマ(前期) デザイン・パターン・制作実技
5. 通しまち 基本型 14 コマ(前期) 制作実技
6. バザー作品 基本型 14 コマ(前期) 制作実技
7. コラボレーションバッグ 制作 30 コマ(後期) デザイン・パターン・制作実技
8. 立体 42 コマ(後期) デザイン・パターン・制作実技
9. 卒業制作 3~4 点 71 コマ(後期) デザイン・パターン・制作実技 (卒業研究・創作 55 コマを含む)

見学先

東京レザーフェア、(株)プリンセストラヤ 袋物参考館、カワムラレザー

【評価方法】

S~C・F評価

デザイン	学業評価 80% (提出物 50、試験 30)	授業姿勢 20%
パターンメイキング	学業評価 80% (提出物 30、試験 50)	授業姿勢 20%
製作実技	学業評価 80% (提出物のみ、試験なし)	授業姿勢 20%

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション工芸講座③ バッグ
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：様々な作りの「基本型」のバッグを制作後、「応用」として基本の技術を活かした自由なデザインのバッグを制作する。
 担当教員紹介：文化服装学院バッグデザイン科を卒業後、バッグの小売事業会社に1年勤務した後、バッグのOEMメーカーで企画職として勤務。

記載者氏名 白方 茜

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GH2	科名 バッグデザイン科 2年	単位	2単位
科目コード 302520	科目名 バッグ Handwerk II	授業期間	前期

担当教員(代表) : 荒関 史伸	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
手縫いの技法のいくつかを使用し、ビジネスバッグ製作ができるほどのレベルにもっていく。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
手縫いの技法、装飾的な手縫いを使用したビジネスバッグ製作(14コマ) <ul style="list-style-type: none"> ・ バッグ製作(パターン作製、裁断、すき、下張り、縫製) ・ 仕上げ 	実習	1 ~ 16

【評価方法】 S~C・F 評価 評価基準 : 学業評価 50%、授業姿勢 50%

主要教材図書 文化ファッション工芸講座③バッグ

参考図書 なし

その他資料 文化ファッション講座工芸②手芸

授業の特徴と担当教員紹介
実際にモノを作りながら技術を習得していきます。担当教員は文化服装学院卒、現役のバッグ職人です。

記載者氏名 荒関 史伸

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バッグデザイン科2年	単位	1単位
科目コード		科目名	量産技術演習	授業期間	(後期)

担当教員(代表)： 玉那覇 孝二

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

量産現場の作業工程及び縫製方法によりバッグを制作し、専門知識と技術を習得する。
縫製に適する各種アタッチメントの扱い方を学ぶ。

【授業計画】

バックパック 制作実技

- ・裁断 2コマ
- ・縫製準備（革漉き、コバの始末等） 3コマ
- ・縫製（各種アタッチメント使用） 8コマ
- ・仕上げ・完成 1コマ

【評価方法】 ※学業評価＝各期末試験の得点、平常成績（授業内での応答、課題作品・実技の評価）など
授業姿勢＝出欠状況、授業課題提出状況など

学業評価 80% ・ 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 **授業の特徴、担当教員紹介（教員の経歴や経験など）を公表可能な範囲で記入してください**

1997年文化服装学院 ファッション工芸科卒業
 // 株式会社ヤング入社
 1999年株式会社ヤング退社
 2000年コニー株式会社入社
 // 文化服装学院 非常勤講師
 2005年コニー株式会社退社
 2005年文化服装学院入社（ファッション工芸課程 バッグデザイン科担当）
 2012年文化服装学院退社
 2012年ARCS078（鞆袋物製造）創業
 // 文化服装学院 非常勤講師
 2014年コニー株式会社入社（CONY ARCS 配属）
 // コニー株式会社取締役部長就任
 2020年コニー株式会社取締役常務就任

記載者氏名 玉那覇 孝二

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	ジュエリーデザイン科2年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	グラフィックワーク II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 Photoshop・Illustrator 初心者を対象とし、Photoshop では、画像の切り抜き・合成・手描きデザイン画の着色ができるようになることを目標とする。Illustrator では、マップのレイアウトデザインができるようになることを目標とする。

【授業計画】

- ポートフォリオ修正 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
 ①整列機能の使い方 ②文字ツール ③ポートフォリオのブラッシュアップ
- ペンツールの使い方 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
 ①直線の描き方 ②曲線の描き方 ③線の修正
- デザインバリエーションの作成 (Illustrator) : 講義・実習 4コマ
 ①ライブペイントの使い方 ②トレース ③デザインバリエーションの作成
- デザイン画の着色方法 (Photoshop) : 講義・実習 4コマ
 ①ブラシツールでの着色 ②素材写真の貼り付け ③陰影のつけ方
 ④連続柄のいれ方
- エクセルの基本 1コマ
 ①表の作成 ②オートフィル ③計算式の使い方
- プレゼンテーション : 講義・実習 4コマ
 ①パワーポイントの使い方 ②アニメーションの使用方法 ③発表原稿の作成
 ④プレゼンテーション
- Photoshop の動画編集 : 講義・実習 2コマ
 ①動画のカット、移動、サイズ変更 ②文字や写真の追加方法 ③レンダリング
- モノグラムデザイン (Illustrator) : 実習 4コマ
 ①水玉・ストライプ ②オリジナルスウォッチの作成

【評価方法】
 学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書	
参考図書	
その他資料	Adobe Photoshop CC2023/Adobe Illustrator CC2023/Microsoft Excel2019/Power Point2019

授業の特徴と担当教員紹介 講義と実習を交互に行い、実際にPCを操作しながらグラフィックのソフトの使用方法を身につける授業です。担当教員は、デジタルテキストスタイルデザインを専門としており、連続柄の知識を加えながら、幅広いPCスキルを身に付けられる授業を目指しています。

記載者氏名 飯塚 有葉

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GF2, GG2, GH2, GI2	科名 帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、 バッグデザイン科、シューズデザイン科 2年	単位	1単位
科目コード 500300	科目名 造形デザイン	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 西村 碧	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション工芸の各専門分野に活かすことのできる、立体造形の基礎的能力のさらなる向上を図り、多様な実習を通してデザインの思考と展開の方法の拡張を目指します。造形行為によりみずからの構想を形にし、モノと空間性への理解を深めることで、各専門分野に通底する総合的な造形感覚の習得を目指します。

【授業計画】

授業は造形作品（立体作品）の制作が中心になります。

課題においては、実習中の指導に力を置き、制作に関わる方法論や造形面の助言を行いながら、

造形ならびに空間性を把握する能力の拡張と、柔軟な思考力の習得を図ります。

また、造形物そのものの評価とは別に、各自のプレゼンテーション・講評等を通じ、

作品の意図を論理的に思考し、説明する能力を身につけることを目指します。

- 「場」の表現 立体構成を通じた空間感覚の養成を目的として、角材を素材に、「モノ」、「空間」を構成する基本要素である点・線・面を用いて構成を行う。角材を用いた立体造形の演習。(5コマ)
- 変容する素材による立体造形 空間および立体を形成する諸要素の関係の把握を目的に、軽金属の素材特性を活かした加工と構成を検討し、内的・外的空間性を包含した立体物を構成する。軽金属を用いた立体造形の演習。(5コマ)
- 実空間への展開 実空間の構成と場の変容の知覚を目的として、実在の空間から着想を得て造形し、どのような作用がその場にもたらされるかを考察する。構内の空間を利用した空間構成演習(グループ課題)。(5コマ)

【評価方法】

S~C・F評価

評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

制作実習における成果物を主たる評価基準とする。基礎造形の理解度と表現力を評価の基準としたうえで、思考の柔軟性と今後の展開可能性が感じられるものを高く評価する。制作実習時の姿勢ならびに出席状況、制作終了後の清掃なども制作プロセスの一部と捉え、採点に加味し、総合的に評価する。

主要教材図書	特になし
参考図書	『Visual design (平面・色彩・立体構成) 1』(改訂新版) 日本グラフィックデザイナー協会/六耀社
その他資料	特になし

授業の特徴と担当教員紹介

制作実習中はコミュニケーションを緊密にとり、造形に取り組む基本的姿勢の習得と柔軟な思考力を養うことを目指します。

記載者氏名 西村 碧

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` GG2・GH2・ GL2・GF2 科目コード`	科 名 ファッション工芸専門課程 2 年 科目名 ファッションマーケティング	単 位 授業期間	単 位 ()
-------------------------------------	---	-------------	------------

担当教員（代表）：丹羽一友	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

マーケティングの基礎を学び市場の細分化とその特徴を理解しファッションビジネスへの応用、活用を具体的に実行する方法を学ぶ。戦略立案から商品企画までを行い最終的に企画プロジェクトのプレゼンテーションを行い、即戦力としての知識、経験を身につける。

【授業計画】前期（各 1 コマ）

- ①マーケティングの基礎知識（概論）：目的、方法
一般論としてのマーケティングとは何か、マーケティングのプロセスを理解する
- ②ファッションビジネスにおける「実践マーケティング」
マーケティング手法を具体的にファッションビジネスに落とし込む方法を理解する
- ③「消費者行動」と「ファッション表現」
マーケティングの対象者である顧客のファッションにおける消費行動を理解する
- ④ファッション業界を取り巻く現状：統計データより
現状のファッションビジネスのおかれている状況を具体的な数字データをもとに理解する
- ⑤国内流通の現状について：川上～川下（企業別データ）
国内のファッションビジネスのサプライチェーンの基本と変化を理解する
- ⑥国内小売業について
国内の顧客との接点である小売業の種類、詳細を理解する
- ⑦ブランディングについて
「ブランド」の意味と構築の方法、維持までを理解する
- ⑧戦略、ブランディングの実施
リサーチ結果から戦略を立て、ブランディングを行う具体的な方法を理解する
- ⑨戦略、ブランディング発表
仮説としての戦略、ブランディングを発表することにより、進むべき方向性の確立を行う
- ⑩情報収集とリサーチ
マーケットの流れ、ライフスタイルなどの仮説を立て検証し戦略立案を行う方法を理解する
- ⑪リサーチのまとめ
実際に立てた戦略に対しての仮説がリサーチの結果どのような状況であったかを分析
- ⑫リサーチ発表
仮説とリサーチ結果を分析、考察、修正を実際に行いプレゼンテーションを行う（ツールの作成）
- ⑬マーチャンダイジング及びプロモーション
リサーチ結果をもとに具体的に商品のマーチャンダイジングの組み立て方法を理解する
- ⑭マーチャンダイジング実施
商品企画の実施
- ⑮マーチャンダイジング発表
実際に立案したマーチャンダイジングの計画のプレゼンテーションの方法を理解する

【評価方法】

プレゼンテーション

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 F工芸科バッグデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表)：朝日 真	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世18世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	古代の服飾	17	
3	中世の服飾	18	
4	ルネサンスとバロックの服飾①	19	
5	バロックの服飾②ロココの服飾①	20	
6	ロココの服飾②	21	
7	第一帝政、王政復古時代の服飾	22	
8	第二帝政時代の服飾	23	
9	第三共和制時代から1900年代のファッション	24	
10	1910年代～1920年代のファッション	25	
11	1930年代～1940年代のファッション	26	
12	1950年代～1960年代のファッション	27	
13	1970年代～1980年代のファッション	28	
14	1990年代～2000年代のファッション	29	
15		30	

【評価方法】

レポート提出（50%）、出欠と授業態度（50%）

主要教材図書
文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションを専門とする。

記載者氏名 朝日 真

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バッグデザイン科2年	単位	2 単位
科目コード		科目名	バッグデザイン画Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 玉川あかね	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインワークのうえで即戦力として使えるバッグデザイン画の描き方を習得することを目標とする。ポートフォリオ作成のためのデザイン画を描きまとめる中で、デザイン画の企画構成力を強化。コンテスト応募作品にも積極的に取り組み、独創性とデザイン画の表現力を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・創作デザイン/コンテスト応募作品

- ・ YKKファスニングアワード (3コマ)
- ・ 革コン (3コマ)
- ・ 学内コンテスト「服飾工芸部門」 (3コマ)
- ・ 台東ザッカデザインコンテスト (2コマ)

II・就職活動のための作品集制作(ポートフォリオ)

マイコレクション① (4コマ)

- ・ テーマ『日本の伝統工芸からの発想』

マイコレクション② (4コマ)

- ・ テーマ『サステイナブル』

(プレゼンテーションのためのデザイン画の表現について)

マイコレクション③

実物制作したバッグのデザイン画とデザインバリエーション展開

- ・ 口金バッグ (3コマ)
- ・ 立体の応用 (2コマ)
- ・ 卒業制作 (6コマ)

*マーカー、色鉛筆、水彩絵の具を使い、レザーを中心とした各種素材表現の彩色テクニックを年間の課題の中で指導。

【評価方法】 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする
S~C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系「ファッション工芸講座3 バッグ」
日本皮革産業連合会「鞆・ハンドバッグ・小物 標準用語集

参考図書

その他資料 参考資料プリント、オンデマンド資料

授業の特徴と担当教員紹介

デモンストレーションを伴う講義と、実技演習科目

記載者氏名 玉川あかね

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	ファッション工芸各科	単位	単位
科目コード	科目名	現代ファッション論	授業期間	前期 単位

担当教員(代表)：関谷麻美	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 現代において国際的に流通している“ラグジュアリーブランド”は、流行を牽引するだけでなく、全世代の強い憧れの的でもある。それらには長い歴史があり、時代の流れを読みながら発展してきたブランドがほとんどだ。さらに21世紀に向けて環境問題と向き合い、“サステナブルファッション”を提案するブランドも数多い。この講座では著名なラグジュアリーブランドの成り立ちと現在の動向、そして未来への展望を掘り下げる。

内容	方法	コマ
「イントロダクション」現代のラグジュアリーブランドとは？ +全14回の講義の流れ	講義	1
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり①＝シャネル」	講義	2
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり②＝ディオール、サンローラン」	講義	3
「パリ＝現代の“ラグジュアリーブランド”のはじまり③エルメスとルイ・ヴィトン」	講義	4
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ①」	講義	5
「パリ＝パリコレクションから世界へ。“ラグジュアリーブランド”の国際化とサステナビリティ②」	講義	6
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転①」	講義	7
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転②」	講義	8
「イタリア＝レザーの老舗からトータルブランドへ＝60年代以降の“メイド・イン・イタリア”の大逆転③」	講義	9
「イギリス・ロンドン＝バーバリーからヴィヴィアンW、ステラMの地球に優しいファッションまで」	講義	10
「現代ファッションにおいて最も重要なキーワード＝“サステナブル”について」	講義	11
「日本・東京＝欧米経由で国際的になった日本ブランド 1970年から現代まで」	講義	12
「アメリカ・NY＝ブルックス・ブラザーズからラルフ ローレン、マーク J、マイケルKまで」	講義	13
「パリ・ヴァンドーム広場のハイジュエラー」	講義	14

【評価方法】
 出席率・遅刻率、授業への積極的な参加（挙手、質疑応答など）、課題の提出・内容から総合的に判断する。

主要教材図書 毎回の講義にはパワーポイントによる資料をモニターで提示。
 参考図書 講義で取り上げたブランドの公式ホームページ。
 その他資料 www.japan.com

授業の特徴と担当教員紹介
 ファッション誌編集者・ジャーナリストとして、常に最先端のラグジュアリーブランドに触れている経験を生かし、スピーディに変化してゆくブランドの動向を的確に捉え、解説する。また、現代とこれからのファッション業界で外せないキーワード「サステナブル」についても、随時、触れながら、時間のあるかぎり詳細を伝えていくように心がける

記載者氏名 関谷麻美

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	帽子デザイン科2年	単 位	1 単位
科目コード		ジュエリーデザイン科2年	授業期間	前期
		バッグデザイン科2年		
		シューズデザイン科2年		
	科目名	英会話		

担当教員(代表)：原田千尋	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 基礎的な文法事項の確認、ファッション関連の語彙や表現の習得、及び英語圏の文化に根ざした会話力の強化を目標とする。
 英語を駆使して将来ファッション業界でグローバルに活躍するための基礎固めをする授業。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
授業概要説明、自己紹介、学生同士で英語による質疑応答	講義・演習	1
文法：さまざまな疑問文と答え方 ファッション関連英語：ファッションアイテム	講義・演習	1
文法：現在形、頻度を表す副詞 ファッション関連英語：色、柄	講義・演習	1
文法：過去形 ファッション関連英語：品質表示、洗濯方法	講義・演習	1
文法：完了形 ファッション関連英語：体、顔の各部の名称	講義・演習	1
文法：未来を表す言い方 ファッション関連英語：着こなし	講義・演習	1
文法：疑問詞 ファッション関連英語：ファッションを表す形容詞	講義・演習	1
文法：動名詞 ファッション関連英語：手順の説明	講義・演習	1
文法：助動詞 ファッション関連英語：数字の言い方、ショッピング	講義・演習	1
文法：前置詞 ファッション関連英語：英文履歴書	講義・演習	1
文法：接続詞 ファッション関連英語：英語の就職面接	講義・演習	1
文法：比較級、最上級 ファッション関連英語：ファッションショー現場の英語	講義・演習	1
自分の作品についてのプレゼンテーション 準備	講義・演習	1
自分の作品についてのプレゼンテーション 発表	講義・演習	1

【評価方法】
 S～C・F 評価
 評価基準：学業評価(小テスト得点、課題・プレゼンテーション評価)50%、授業姿勢(出席率、授業内活動参加状況)50%

主要教材図書
 Essential English for Fashion Students Bunka Fashion College

参考図書
 「Fashion×English おしゃれ英語図鑑」DHC

その他資料
 「ラジオ英会話」「ラジオビジネス英語」NHK 出版、「好感を持たれる英語表現」クロスメディア・ランゲージ、
 「SAKURACO's こなれ英語 LESSON」ベレ出版、「世界一わかりやすい英会話の授業」KADOKAWA、
 Forward Mode:English for Fashion Students 南雲堂

授業の特徴と担当教員紹介
 学生同士の会話やプレゼンテーションなどの実践により英語運用力の向上を目指す楽しい授業展開。
 担当教員はムーミンの原作者と文通経験のあるムーミンの大ファン。英語教授法修士課程修了、1987年から英語教育に携わり、2014年から文化服装学院で非常勤講師として英会話を担当。

記載者氏名 原田千尋

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バックデザイン科2年	単位	1単位
科目コード	980020	科目名	特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表):	白方 茜	共同担当者:	
-----------	------	--------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 多方面にわたる講師の講義を通して、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. ONOMICHI DENIM PROJECT	講義	1コマ	講師: 黒木 美佳・綿吉 杏
2. 金属アレルギーについて	講義	1コマ	講師: 鈴木 久子
3. 流行色・トレンド解説	講義	1コマ	講師: 小木曾 珠希
4. 皮革のメンテナンス	講義	1コマ	講師: 静 孝一郎
5. トレンド情報	講義	1コマ	講師: 岡村 嘉子
6. フリーランスデザイナーについて	講義	1コマ	講師: 横山 英也
7. issey miyamae の世界	講義	1コマ	講師: 宮前 義之
8. ITリテラシーの向上	講義	1コマ	講師: 宮本 順一
9. KUONの取り組み	講義	1コマ	講師: 石橋 真一郎

【評価方法】
 学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

授業の特徴と担当教員紹介
 様々な業界で活躍する方々より、広い視野と高い専門性、豊かな人間性について学ぶ授業

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バックデザイン科2年	単 位	1単位
科目コード	930020	科目名	校外研修Ⅱ	授業期間	後期

担当教員(代表)： 白方 茜	共同担当者： 宮原 勝一 大工原 睦 板野 景子
-------------------	-----------------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
各アイテム及び副資材を扱う産地の企業・工場見学を通してより専門的な知識を得るとともに、就職を見据えたより深い理解の修得をはかる。 ※帽子デザイン科、ジュエリーデザイン科、シューズデザイン科と合同

【授業計画】
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○企業、工場見学

- ・ 帽子製造企業 : 藤井製帽(株)
- ・ ビーズ工場 : (株)ミユキ
- ・ 革製品製造 : ヤング産業(株)
- ・ シューズメーカー : (株)ニチマン
- ・ コラボレーションファッションショー開催場所 : ONOMICHI U2 (複合商業施設)
(インダストリアルマーチャンダイジング科2年と合同)

○レポート提出

【評価方法】
学業姿勢・出欠状況、レポート提出を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

専門アイテム及び副資材を扱う企業・工場の見学と、産地とのコラボレーションの作品発表を兼ねた行程を組んでいる。

記載者氏名 白方 茜

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バッグデザイン科 2年	単位	1 単位
科目コード	945020	科目名	インターンシップⅡ	授業期間	通年（自由選択）

担当教員(代表)： 白方 茜	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

企業研修を通して、実践の場から業界の仕事の内容を認識するとともに、学校教育では授業できない実務を学ぶ。
また、社会人としてのマナーを身につけ、就職に対する意識の向上をはかる。

【授業計画】

○研修先、期間

バッグ、鞆業界の企業

1週間～2週間（受け入れ先企業により異なる）

○研修内容

実務作業補助（デザイン、製作、営業、生産管理など）

研修内容は受け入れ企業により組まれる。

【評価方法】

学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する（出欠、研修報告）

* 学生数に対する企業受け入れ数が不足の場合のことを考慮し、自由選択とする。

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：バッグ業界の様々な職種の就業体験。

担当教員紹介：

記載者氏名 白方 茜

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GH2	科名	バッグデザイン科 2年	単位	4 単位
科目コード	970000	科目名	卒業研究・創作	授業期間	通年

担当教員(代表) :	白方 茜	共同担当者 :	
------------	------	---------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】

卒業制作発表展示に向けて表現力、創作力を高め、また企画、運営する能力を養うことを目標とする。
2年間の集大成として、各自が研究テーマを設定し、3~5点のシリーズで作品をデザインし創作する。また、展示発表を通して企画、運営方法とチームワークの重要性を学び、帽子・ジュエリーデザイン科、シューズデザイン科と共に展示発表する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小・項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、制作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○各個人がテーマを設定し、デザイン・制作

1人 : 3~4点

○素材、技法の開発及び研究

○機能、構造の研究

○展示会の企画・運営

【評価方法】

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価 80% 授業姿勢 20%

主要教材図書 なし

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴 : 各自が研究テーマのもと、3~4点の作品をデザイン・制作し、卒業制作展示会で発表する。

担当教員紹介 : 文化服装学院バッグデザイン科を卒業後、バッグの小売事業会社に1年勤務した後、バッグのOEMメーカーで企画職として勤務。

記載者氏名 白方 茜